

会 告

第22回西山記念技術講座開催のお知らせ

— テーマ：製鉄用エネルギー資源の現状と将来

第22回西山記念技術講座を下記により開催いたしますので、多数ご来聴下さるようご案内いたします。

1. 期 日 昭和48年9月6日(木), 7日(金)
2. 会 場 農協ホール (千代田区大手町 1-8-3 農協ビル9階)
3. 演題ならびに講師予定

第1日	9:30~12:00	製鉄用エネルギー資源の現状と将来	通産省 鈴木 滋 男
	13:00~15:00	石炭の性質とコークス化性	工業技術院公害資源研究所 木村 英雄
	15:00~17:00	新しいコークス製造技術	新日本製鉄室蘭製鉄所 龍田 光 雄
第2日	9:00~12:00	製鉄における石油の利用	工業技術院公害資源研究所 真田 雄 三
	13:00~15:30	エネルギー源としての原子炉の将来性	日本原子力研究所 村田 浩
4. 聴講無料 (事前の申込みは必要ありません)
5. テキスト代 2000 円
6. 問い合わせ先 日本鉄鋼協会編集課 TEL. 03-279-6021 (代)

第86回(秋季)講演大会討論会コメントならびに質問募集のお知らせ

本会では第86回講演大会を来る10月19日(金)~21日(日)の3日間九州大学において開催いたしますが、講演大会開催にさいし、下記討論会が開催されます。本討論会の講演内容は本号(9号)巻末に掲載いたしておりますので、内容ご覧のうえ、講演に対するコメントならびに質問をふるつてご投稿下さるようお知らせいたします。

記

1. 投稿締切日 昭和48年9月20日(木)
2. 原 稿 任意の用紙にご執筆のうえ提出下さい。
3. 送 付 先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 日本鉄鋼協会編集課 Tel. 03-279-6021
4. 討論講演概要 討論講演の概要は本号のみに掲載され、講演概要集(11号)には掲載されません。
会誌掲載 討論会参加の方は本誌掲載分をご持参下さい。
5. 討論会テーマおよび講演
 - I 高炉の溶融帯における反応について 座長 川合 保治

討-1	広畑第1高炉解体調査結果からみた溶融帯の状況	新日鉄 神原健二郎・萩原 友郎・○佐々木 稔 奥野 嘉雄・片山 力・吉沢 謙一
討-2	高炉の溶融帯における装入物の挙動について	鋼管京浜 ○梶川 脩二・隅田 昇 技研 吉越 英之・福島 勤・鴨志田友男・福山 辰夫
討-3	CaO-Fe ₂ O ₃ -SiO ₂ 系ペレットの溶融をともなう高温還元について	川鉄技研 ○佐々木 晃・片山 英司・荒谷 復夫・岡部俠児
討-4	ガスを介しての硫黄の反応と溶融帯の挙動	北大工 植木 弘満・石井 邦宜・○吉井 周雄
 - II 溶鋼の複合脱酸について 座長 盛 利貞

討-5	Al-Si および Ca-Si 合金による鋼の複合脱酸について	早大理工 草川 隆次・○吉田 千里
-----	---------------------------------	-------------------

討-6 Ca-Si-Al 基複合脱酸合金で処理した Al キルド厚板用鋼中の介在物の挙動
川鉄技研 ○垣生 泰弘・江見 俊彦・北岡 英就・三本木貢治
千葉 飯田 義治

討-7 アルミ系複合脱酸による溶鉄の脱酸挙動
神鋼中研 松本 洋・広岡 康雄・○小山 伸二・成田 貴一
加古川 平岩 幹夫

討-8 ステンレス溶鋼の複合脱酸について
日鋼室蘭研 ○鈴木 是明・谷口 晃造

討-9 複合脱酸による 17%Cr ステンレス鋼の品質の改善
川鉄技研 ○矢野 修也・中西 恭二・大井 浩・藤元 克巳
西宮 三原 康雄・岩岡 昭二

III ロール成形の技術的諸問題について 座長 加藤 健三

討-10 ロールフォーミング加工の成形過程における材料の変形挙動
東大生研 木内 学

討-11 ロール成形におけるそり変形と材料特性の関係
阪大工 加藤 健三・○斎藤 好弘

討-12 ロール成形中に発生する長手方向の曲げモーメントについて
九州工業技術試験所 山川 俊夫・○山下 勇

討-13 鋼管のロール成形における負荷特性に及ぼす成形条件の影響
新日鉄八幡技研 中島 浩衛・○水谷 渉・菊間 敏夫・松本 紘美

討-14 ロール成形法による鋼板の溝つけ加工について
京大工 ○小門 純一・小野田義富

IV 鋼およびステンレス鋼の耐海水性 座長 久松 敬弘

討-15 耐海水鋼の局部腐食挙動
鋼管技研 ○玉田 明宏・金指 元計・西村 隆行・松島 巖

討-16 海水腐食による鋼表面の不均一性と腐食速度の相関について
川鉄技研 ○清水 真人・久野 忠一・嶋中 浩

討-17 ステンレス鋼の耐海水性について
新日鉄基礎研 ○岡田 秀弥・細井 祐三・小川 洋之

討-18 各種ステンレス鋼の耐海水性 住金中研 小若 正倫・○長野 博夫

V 鉄鋼中の格子欠陥と水素原子 座長 橋口 隆吉

討-19 鉄中の水素の拡散 東北大工 ○平野 賢一・飯島 嘉明・松山 豊和

討-20 体心立方金属の内部摩擦に及ぼす水素の影響
東大工 阪本甲子郎

討-21 タンタル中の水素の低温における挙動 東北大金研 花田 黎門

討-22 塑性工場を含む鋼中の水素の拡散と集積およびその水素ゼイ化におよぼす寄与について
阪大工 ○菊田 米男・落合真一郎・吉永 彰一

VI 鉄鋼の強化組織と靱性 座長 荒木 透

(金属学会と合同シンポジウム)

討-23 マルエージ鋼の時効組織と延性、靱性
金材技研 ○河部 義郎・金尾 正雄

討-24 10Ni-8Co 高降伏点高靱性鋼の強化機構と靱性
新日鉄基礎研 谷野 満・渡辺 利光・○森川 博文
製品研 金沢 正午
八幡技研 矢田 浩

討-25 5%Ni-0.5%Mo 鋼の焼もどしマルテンサイトとベイナイトの組織と靱性
川鉄技研 鎌田 晃郎・腰塚 典明・船越 督己

討-26 中炭素低合金鋼のベイナイトの靱性に及ぼす炭化物の影響
金材技研 ○中島 宏興
東大工 荒木 透

討-27 フェライトベイナイト混合組織の形成とその機械的性質
川鉄技研 ○田中 智夫・田畑 綽久・榎並 禎一・船越 督己

「鉄と鋼」特集号

「鋼の連続製造」原稿募集のお知らせ

投稿テーマの申出：昭和48年8月31日

原稿締切日：昭和48年11月20日

昭和34年に導入されたわが国における鋼の連続製造は、いまや8形式100基を上まわる設備が稼動するまでに発達し、適用鋼種や断面形状も広範囲におよんでいます。そしてその操業も安定化しつつあり、連続製造技術はほぼ定着した技術になりつつあります。こうした進歩の基礎には研究者および技術者の貴重な努力とはかり知れない辛苦があり、現在の隆盛がそれらによつて支えられていることは勿論であります。

今回連続製造に関する特集を企画することになりましたが、それによつてこれまでの進歩の跡を顧みるとともに今後の発展の基礎にしたいと考えますので、連続製造についての論文あるいは技術報告を下記によりふるつて投稿下さるようご案内いたします。

1. 設備および操業の改善
2. 凝固過程および凝固組織
3. 鑄片の品質および欠陥

(なお編集の都合で普通号に掲載されることもありますのであらかじめご承知下さい)

記

1. 投稿テーマの申し出締切日 昭和48年8月31日(金)
本文原稿ご投稿前に投稿テーマをご連絡下さい。
2. 原稿締切日 昭和48年11月20日(火)
3. 原稿枚数 本会所定の原稿用紙(450字詰) 30枚(図, 写真, 表含む)
4. 発行予定 「鉄と鋼」第60年第7号(昭和49年6月号)
5. 申込先 100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会編集課 03-279-6021

金属学会セミナー
応用電子論

日時 昭和48年12月5日(水)～7日(金)

場所 発明会館地下ホール(東京都港区芝西久保明舟町17 電話 03-502-0593)

聴講料(テキスト代を含む)

会 員 9,000円

(維持員会社の社員を含む)

非 会 員 15,000円

学 生 会 員 3,000円

学 生 非 会 員 4,500円

(本会の会員は会員聴講料とします)

申込締切 昭和48年11月15日

定 員 300名(ただし定員に達し次第締切ります)

申込要領

所定の申込書の各欄ご記入の上、聴講料を添え(現金書留、為替、振替 仙台 5592のいずれでもよい)お申込み下さい。受理次第聴講券をお送りいたします。

申 込 先 980 仙台市大町1丁目1番13号(東活ビル)
日本金属学会 電話 (0222) 23-3685

日 程		日 程	
第1日		輸送現象	〃
9:30～	金属電子論の基礎 名大工 安達 健五	12:30～	超電導とその応用 東北大理 大塚泰一郎
	バンド電子の静的物性 〃	16:40～17:30	(質疑応答)
	金属の原子配列 〃	第3日	
13:30～	金属の結合エネルギー 東大工 堂山 昌男	9:30～	C P Aとその応用 東北大工 田中 実
	金属内欠陥の電子状態 〃		多電子効果 〃
	金属表面 〃	13:30～	金属の弾性と格子振動 〃
16:40～17:30	(質疑応答)	14:40～	相対性電子論 名大工 安達 健五
第2日		16:00～17:00	(質疑応答)
9:30～	擬ポテンシャルとその応用 名大工 野口精一郎		

第86回講演大会見学会・懇親会開催のお知らせ

本会は第86回(秋季)講演大会を昭和48年10月19日(金)、20日(土)、21日(日)の3日間九州大学で開催いたしますが、これを機会に10月19日懇親会、20日婦人見学会、22日(月)工場見学会を下記により開催いたしますので、奮ってご参加下さいますようご案内いたします。

記

1. 見学会

- 期 日 1班～3班 昭和48年10月22日(月)
婦人コース " 10月20日(土)
- 申込締切 1班～3班} 昭和48年9月17日(月)
婦人コース}

2. 懇親会

- 期 日 昭和48年10月19日(金) 18:00～20:00
- 申込締切 " 9月17日(月)

3. 申込方法

下記「見学参加申し込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙(1人1枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受け付けいたしません。なお銀行振込みならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。

4. 申込先

100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会見学会係 TEL 03-279-6021 (代)

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込み締切りは工場見学、婦人見学班とも9月17日(月)とします。
3. 申し込みは1人1班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第3希望まで順位をご記入下さい。
4. 見学希望数が20名に達しない場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
5. 見学会が中止となった場合は、大会終了後2週間以内に会費を返金いたします。ただし、お申し込みの取消しは9月30日16時着信までとし、以後は取消しの申し出があっても返金いたしません。
6. 各班とも工場内での写真撮影は禁止といたします。また見学班表中*印は同業者の見学をお断りいたします。
7. 見学費の領収書は見学班が決定後、見学券といつしよに送付いたします。

懇親会の申し込みについて

講演大会に際し全国各地からお集りになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご夫人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気のご催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日 時 昭和48年10月19日(金) 18:00～20:00
2. 会 場 次号にてお知らせいたします
3. 会 費 1500円(同伴夫人はご招待いたします)
4. 申込締切日 昭和48年9月17日(月)
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
銀行振込ならびに振替による申し込みはご遠慮下さい。
6. 申込先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話 東京 03-279-6021

第86回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 1班～3班 } 昭和48年9月17日(月)
 婦人コース

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお申込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
 日本鉄鋼協会 見学会係

会員資格	名誉	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏名					
勤務先および 職名					
勤務先所在地 (郵便番号)					
領収書送付先 (郵便番号)					
通信先(勤務先と違う場合) (郵便番号)					
第1希望 第2希望 第3希望 (婦人コース)			班 班 班		送金額 円

.....切.....取.....線.....

第86回講演大会「懇親会」参加申込書

申込締切日 昭和48年9月17日(月)

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお申込み下さい。

送付先 100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
 日本鉄鋼協会 懇親会係

会員資格	賛助	正	学生	該当を○で囲んで下さい。
ふりがな 氏名				
勤務先および 職名				
勤務先所在地 (郵便番号)				
領収書送付先 (郵便番号)				
通信先(勤務先と違う場合) (郵便番号)				
ご夫人名			送金額 円 1500	

第86回講演大会ジュニアパーティー開催のお知らせ

本会は来る**10月19日(金)**、**20日(土)**、**21日(日)**の3日間九州大学において、第86回講演大会が開催される機会に、ジュニアパーティーを開催いたします。

ジュニアパーティーは**会員は誰方でも気軽に参加でき**、自由放談、親睦交歓の場として催されておりますが、前回から新しい企てとして講演座長、協会の各種研究委員会などの委員長の中から数名の方をお招きし、これらの方々を囲み技術面あるいは研究面で苦心している点、最近のトピックスなどを語り合える機会を作ることを考えました。同時に講演会場では十分でなかつた討論の継続もしていただいても結構です。

多くの会員が専門を年齢を離れて集い、大いに語り合い楽しくくつろいだひとときを過していただくために、気軽に参加いただけるよう会場も講演会場内に設けました。

お誘い合せのうえ多数の方々のご出席下さるようご案内いたします。

記

1. 日 時 昭和48年10月20日(土) 17:30~19:30
2. 会 場 九州大学校内
3. 会 費 1000円
4. 申込締切日 昭和48年10月6日(土)
5. 申込方法 下記申込書に必要事項ご記入のうえ会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
6. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係 TEL 03-279-6021

.....切.....取.....線.....

第86回講演大会ジュニアパーティー参加申込書

申込締切日 昭和48年10月6日(土)
 送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお申込み下さい。
 送付先 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4 経団連会館3階
 日本鉄鋼協会ジュニアパーティー係

会員資格	正	学生	該当を○で囲んで下さい
ふりがな 氏 名.....			
勤務先および* 所属部課名.....			
勤務先所在地.....			(郵便番号)
領収書送付先.....			(郵便番号)
通信先(勤務 と違う場合).....			(郵便番号)
送金額	¥1000		

注) *印欄はネームカードを作成いたしますので、詳細にご記入下さるようお願い申し上げます。

第86回(秋季)講演大会見学班表

10月22日(月曜日)

班 (地区)	定員	見学先	見学内容	所在地	見学時間	集合 痛着	出発場所・時間 解散場所・時間	見備	学参加費考
1 (北九州 地区)	50	新日本製鉄(株) 八幡製鉄所 * 日本鋳鍛鋼(株) 住友金属工業(株) 小倉製鉄所 * 東陶機器(株) 関門橋	製鋼, 圧延(軌条)工場 鍛錬工場, 機械仕上工 場 製鋼, 線材工場 陶器工場(衛生陶器)	北八州市八幡区枝光 1-1 〃 戸畑区大字中原 46-59 〃 小倉区許斐町1 〃 小倉区篠崎町 458 関門海峡(下関市一 北九州市門司区)	9:20~10:10 10:40~11:30 13:00~13:50 14:20~15:10 16:00~16:50	国鉄八幡駅前広場 8:55 〃 国鉄下関駅 17:10 〃 門司駅 17:30		1,500円 (昼食費を含む)	
2 (大分地区)	50	昭和電工 新日本製鉄(株) 大分製鉄所 九州石油	油化, 日本コナスト, アセチル化学 岸壁熱延工場 原油船棧橋	大分市大字中の洲2 〃 大字西の洲1 〃 大字中の洲 1-1	11:20~12:10 13:30~15:00 15:20~16:20	国鉄大分駅前広場 10:50 〃 〃 大分駅 16:40		1,500円 (昼食費を含む)	
3 (長崎地区)	50	* 三菱重工業(株) 長崎造船所 市内観光	香焼工場(ドック周辺) クラバー邸, 国際文化 会館, 十六番館, 大浦 天主堂, 崇福寺, 二十 六聖人記念碑に他	長崎市飽ノ浦町 1-1	11:15~12:15 13:30~16:00	国鉄長崎駅 10:35 〃 〃 〃 16:00		1,500円 (昼食費, 参観料 を含む)	

工場は写真撮影禁止 * 印: 同業者の見学は御遠慮願います。

10月20日(土曜日)

班	定員	見学先	見学内容	所在地	見学時間	集合 帰着	出発場所・時間 解散場所・時間	参備	学参加費考
婦人班	40	太宰府 柳川 (白秋邸・立花家庭園) 博多織 (多々良合同工場)	観 光	筑紫郡太宰府町 柳川市 福岡市	9:40~11:00 12:40~14:20 16:20~17:00	天神バスセンター 帰着 〃	8:50 〃 17:30		2,000円 (昼食費入場料 を含む)

宿 舎 案 内

第 86 回講演大会が 10 月 19 日(金)～21 日(土) の 3 日間九州大学において開催されますが、大会参加の宿舎を必要とされる方のために宿舎の世話を「福岡市観光団体旅館協会にお願いしました。福岡市観光団体旅館協会は福岡市推薦の旅館で構成されており、ホテルも含まれています。下記をご参照の上各自お申し込み下さい。

- 申 込 先 〒812 福岡市博多区博多駅前 2-9-28 商工会議所ビル 福岡市観光協会内
福岡市観光団体旅館協会 日本会属学会 日本鉄鋼協会宿泊係 (電話 092-41-0068)
- 申込方法 下記宿舎申込用紙 (または申込書式) により、予約金 1 名につき 1,000 円を添えてお申し込み下さい。宿舎より直接申込者に連絡がなされます。なお予約取り消し変更は早目にして下さい。
予約取り消しが宿泊日 1 週間前まででないとは予約金は返却されません。
- 申込締切 昭和 48 年 9 月 15 日 秋の観光シーズンですののでなるべく早くお申し込み下さい。
- 宿泊料金 旅 館：1 泊 2 食付、サービス料・税込み
A：3,500 円程度 B：3,000 円程度 C：2,500 円程度 個室 4,500 円程度
ホテル シングル ルームチャージ 3,500 円程度
ツイン " 5,500 円程度

.....切.....取.....線.....

宿 舎 あ つ せ ん 申 込 書

日本鉄鋼協会

フリガナ			年 令	性 別
氏 名			才	男・女
住 所	郵便番号	TEL	局	番
希 望 部屋別	旅 館：A・B・C・個室 ホテル：シングル・ツイン	* 第 1 希望には◎印, 第 2 希望には○印をつけてください		
宿 泊 希望日	月 日から	月 日まで (泊 日)	宿泊人員	男 人・女 人
到着日 の夕食	要 ・ 否			

* 予約金 1000 × () 人 × = () 円

第 17 回材料研究連合講演会

主催 日本学術会議材料研究連絡委員会 共催 日本鉄鋼協会, ほか25学協会

開催期日 1973年9月4日(火), 5日(水)

会 場 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34)

A室……205号室 B室……501号室 C室……503号室, および講堂 (特別講演のみ)

講演部門 I. 材料の微視的構造 II. 材料の力学的性質の挙動 III. 材料の物理的性質 IV. 材料の化学的性質 V. 構造物強度 VI. 材料の加工と処理 VII. その他
シンポジウム (主題: 材料の接合)

講演前刷集予約

1. 申込方法: 講演前刷集(全講演 128 題集録)は印刷部数に制限がありますので, 予約頒布をいたします。はがき大の用紙に「第17回材料研究連合講演会前刷集申込み」と記し, 氏名, 職業, 送本先を明記のうえ代金を添えて, つぎの申込先宛にお送り下さい。
2. 予約申込期日: 1973年8月18日(土)
3. 予約価: 1部 1,200円 (上記予約申込期日以後は1部 1,500円)
4. 予約申込先: 日本建築学会「材料研究連合講演会係」(104 東京都中央区銀座 3-2-19) (電話 03-535-6511) 振替口座東京 17187

講演日程 (両日, 各室とも9時30分開催, 講演15分, 討論2分)

日時	A室 (205号室)		B室 (501号室)		C室 (503号室)	
9月9日						
9月10日	101 } 105	I. (材料の力学的性質と挙動)	201 } 205	I. (材料の力学的性質と挙動)	301 } 305	VI. (材料の加工と処理)
9月11日	106 } 110	I. (同上)	206 } 210	I. (同上)	306 } 310	VI. (同上)
9月12日						
9月13日	休 憩					
9月14日 (火)	あいさつおよび特別講演 於講堂					
9月15日	111 } 115	I. (同上)	211 } 216	I. (同上)	311 } 315	シンポジウム (材料の接合)
9月16日	116 } 120	I. (同上)	217 } 220	I. (同上)	316 } 320	シンポジウム (同上)
9月17日						
9月18日						
9月9日						
9月10日	121 } 125	I. (同上)	221 } 225	VI. (材料の加工と処理)	321 } 325	VII. (その他)
9月11日	126 } 130	I. (同上)	226 } 230	VI. (同上)	326 } 330	III. 材料の物理的性質)
9月12日						
9月13日	休 憩					
9月14日 (水)	131 } 136	I. (同上)	231 } 235	IV. (材料の化学的性質)	331 } 336	II. (同上)
9月15日	137 } 144	I. (同上)	236 } 243	V. (構造物強度)	337 } 341	III. (同上)
9月16日						
9月17日						
9月18日						

特別講演 (9月4日(火) 13:20~14:30 於講堂)

1. あいさつならびに「日本学術会議材料研究長期計画について」
日本学術会議材料研究連絡委員会委員長
2. 特別講演 「接着の考え方」

東北大学教授 横堀 武夫
群馬大学教授 畑 敏雄